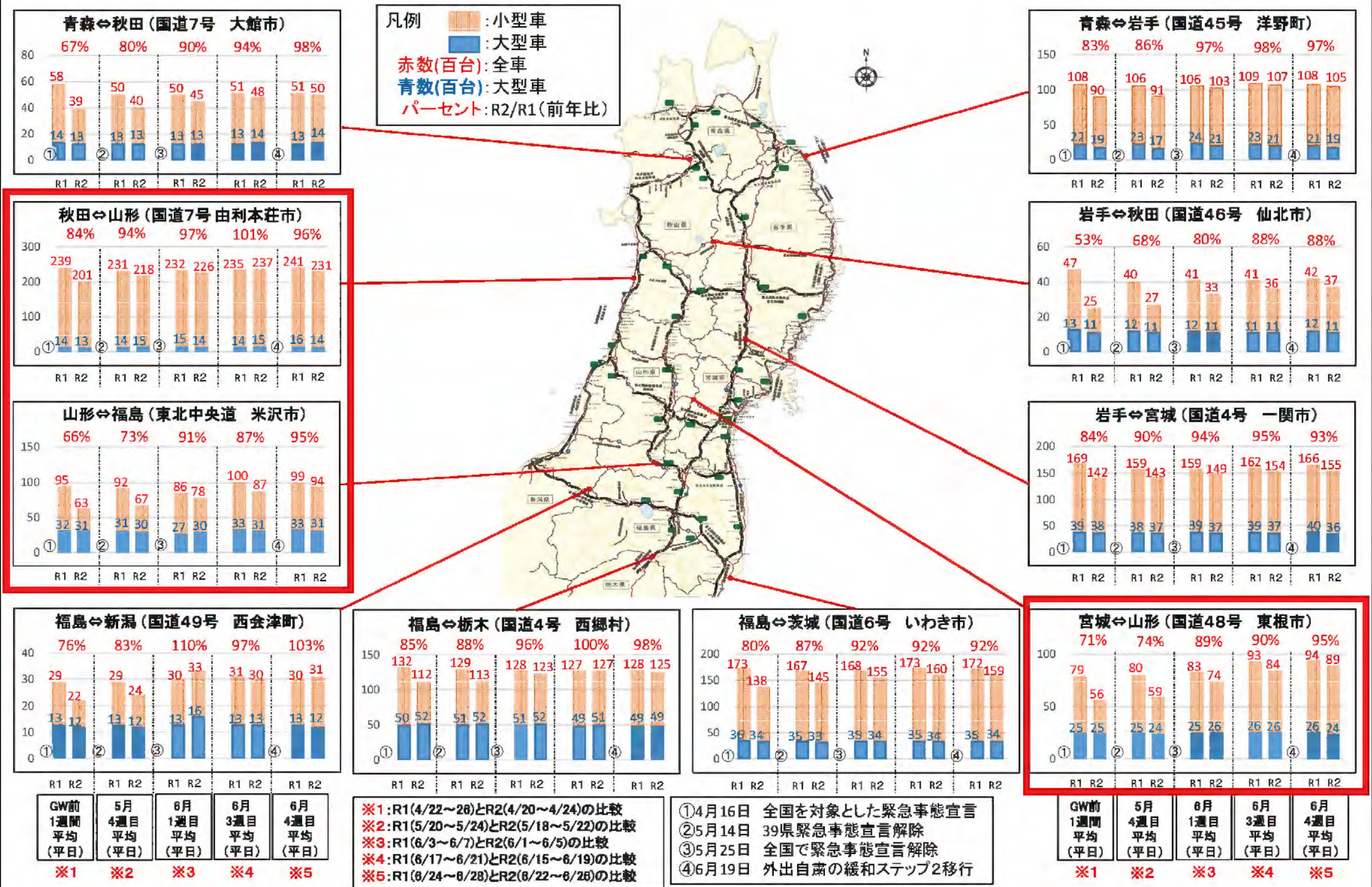


新型コロナウイルスの影響～東北地方における交通量（県境部、平日）～

- ・ 県境部の平日は、4月GW前が前年比約53%～約85%に対し、6月第4週目は、前年比約88%～約103%まで回復。
- ・ 山形県境部に着目すると、山形⇄福島、宮城⇄山形では、4月GW前がそれぞれ前年比約66%、約71%まで減少。一方で、秋田⇄山形は、約84%にとどまった。
- ・ 6月以降は、他の県境部同様に、前年に近い水準まで回復している。
- ・ 大型車交通量については、交通量の低下は見られない。

山形
県境部

山形
県境部

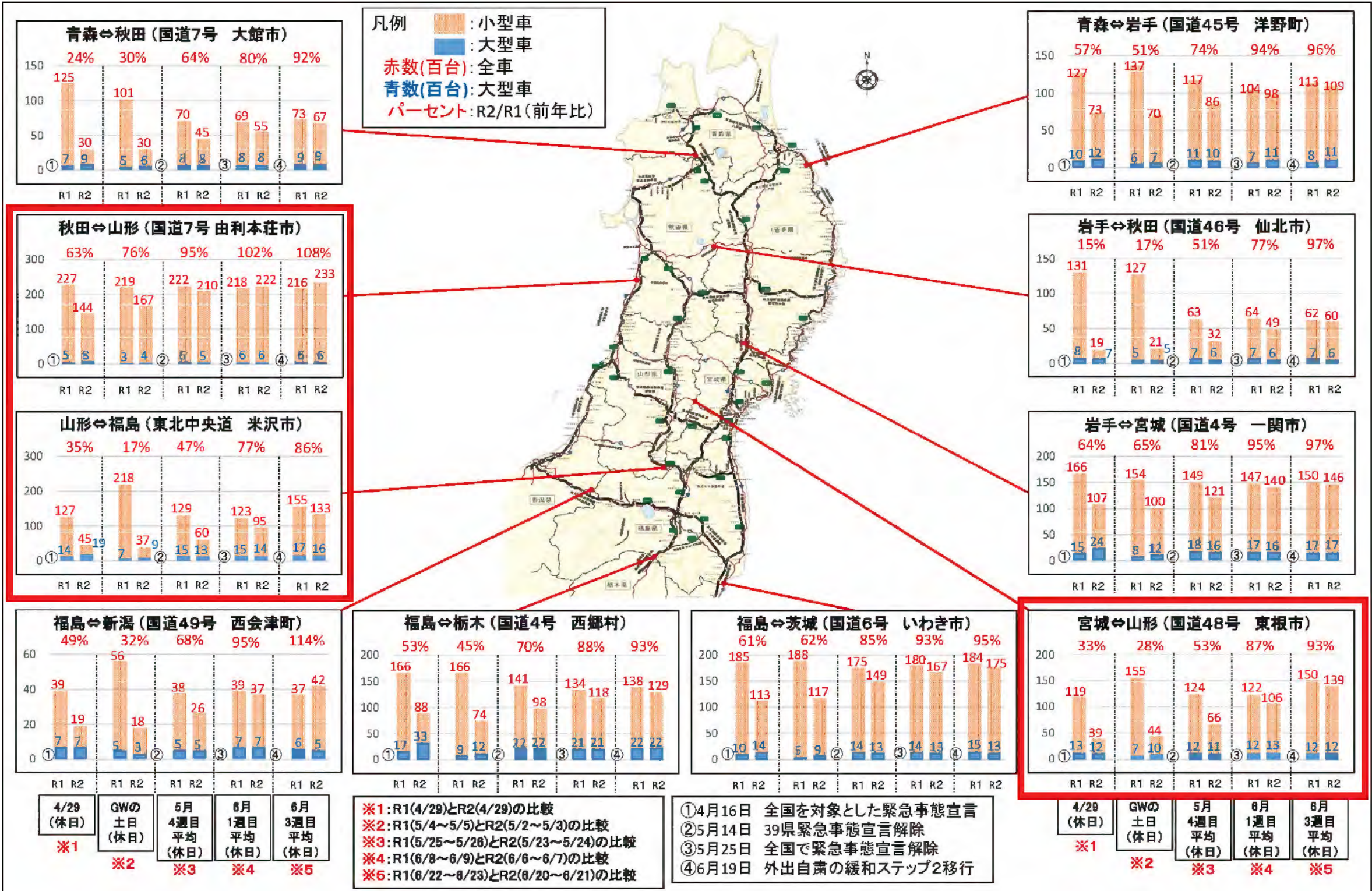


新型コロナウイルスの影響～東北地方における交通量（県境部、休日）～

- ・ 県境部の休日は、4月29日(祝)が前年比約15%～約64%に対し、6月20・21日の土日は、前年比約86%～約114%まで回復。
- ・ 山形県境部に着目すると、山形⇄福島、宮城⇄山形では、4月29日(祝)及びGW期間が前年比約17%～約35%まで減少。一方で、秋田⇄山形は、約63%～約76%にとどまった。
- ・ 6月以降は、他の県境部同様に、前年に近い水準まで回復している。
- ・ 大型車交通量については、交通量の低下は見られない。

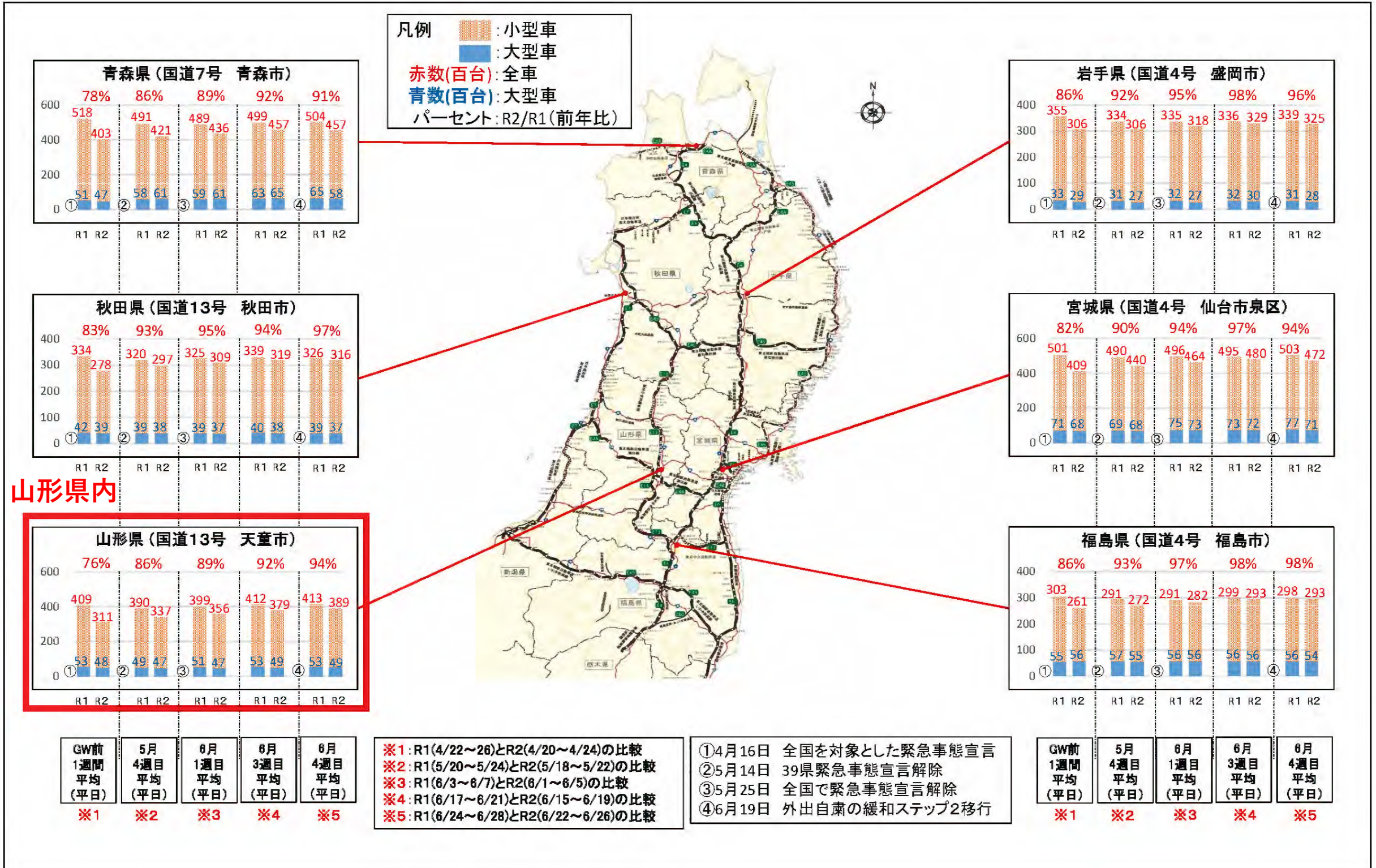
山形
県境部

山形
県境部



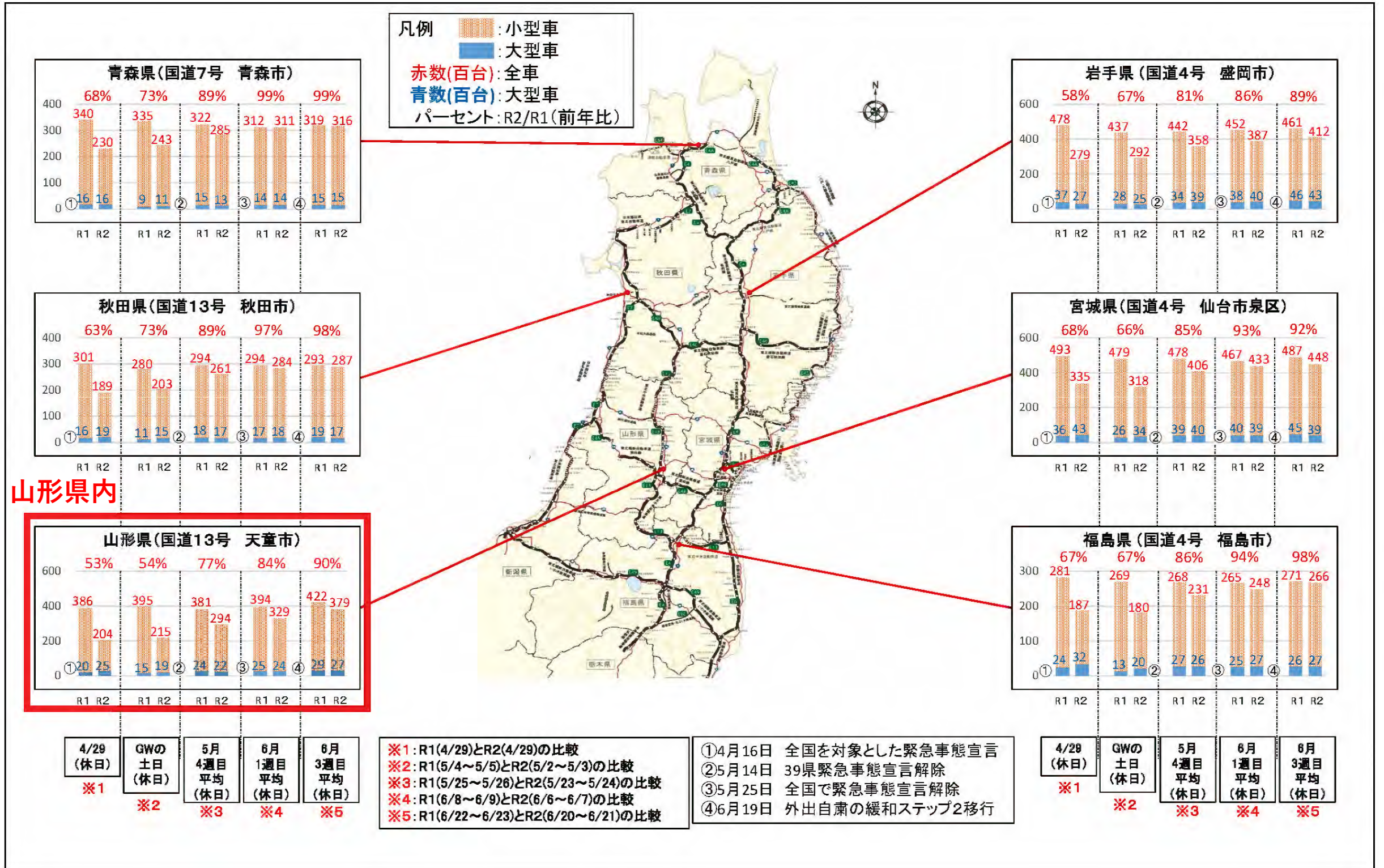
新型コロナウイルスの影響～東北地方における交通量（都市部、平日）～

- ・ 都心部の平日は、4月GW前が前年比約76%～約86%に対し、6月第4週目は、前年比約91%～約98%まで回復。
- ・ 大型車交通量については、交通量の低下は見られない。



新型コロナウイルスの影響～東北地方における交通量（都市部、休日）～

- ・ 都心部の休日は、4月GW前が前年比約53%～約68%に対し、6月第4週目は、前年比約89%～約99%まで回復。
- ・ 大型車交通量については、交通量の低下は見られない。

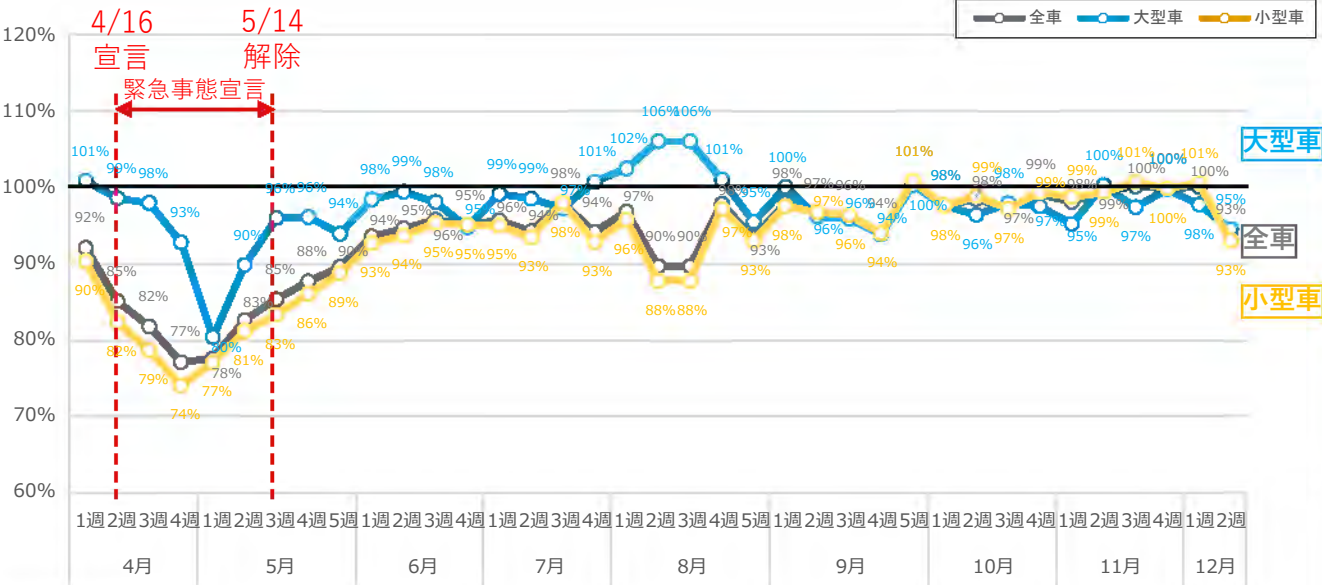


新型コロナウイルスの影響～県内交通量の変化～

■ 県内直轄国道変化状況（車種別交通量前年度比※の推移）

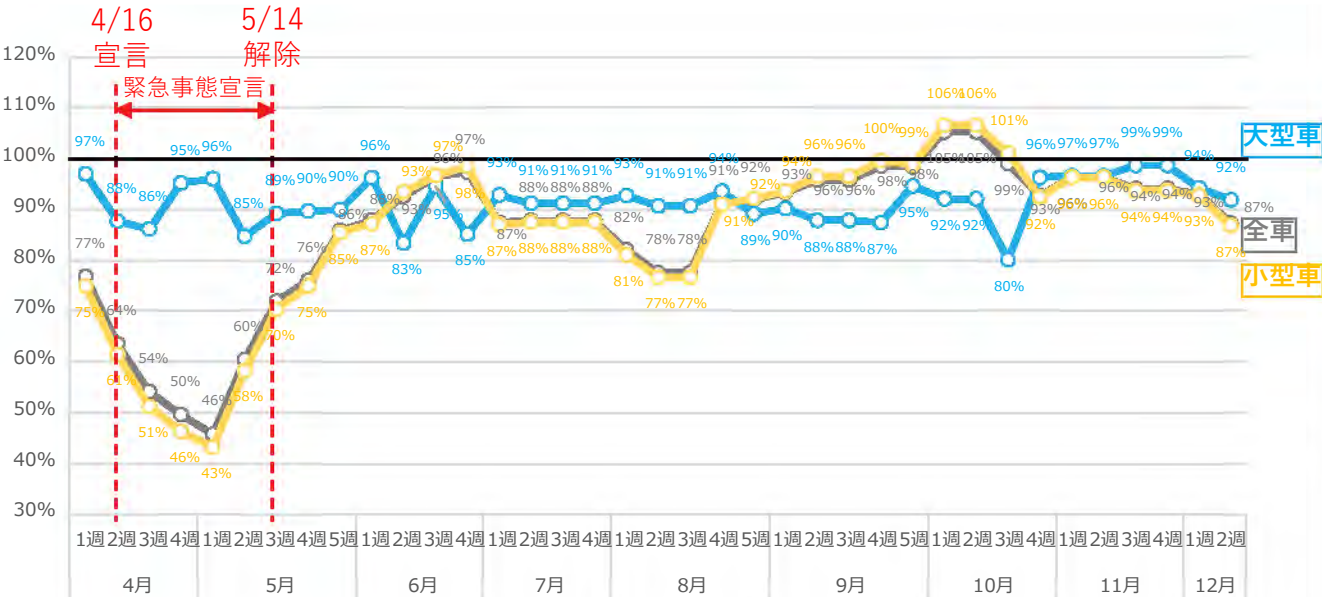
平日

- 緊急事態宣言時に、小型車は、最大約3割、大型車は、最大約2割減少。
- 緊急事態宣言以降、徐々に交通量が回復し、9月以降は全車種で昨年とほぼ同水準まで回復。
- なお、8月のお盆時期に小型車が約1割減少しており、帰省の自粛が要因として考えられる。



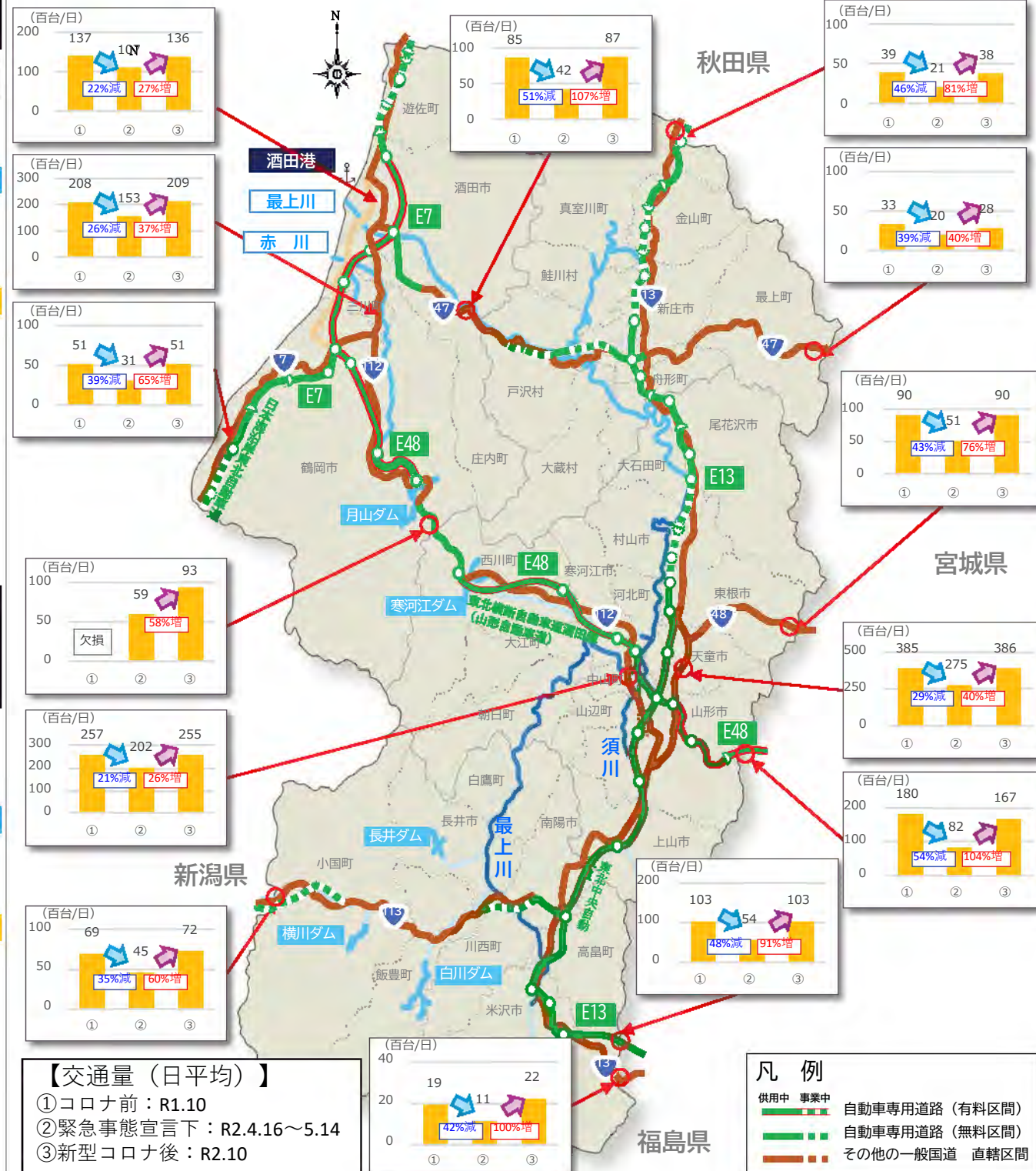
休日

- 緊急事態宣言時に、小型車は最大約6割減少した一方、大型車は、約1割程度の減少で推移。
- 緊急事態宣言以降、小型車は6月にかけて回復し、7～8月は再び減少したものの、9月以降は昨年とほぼ同水準まで回復。
- なお、8月のお盆時期に小型車が約2割減少しており、帰省の自粛が要因として考えられる。



■ 県内主要路線での変化状況

○緊急事態宣言下では、いずれの主要断面でも大きく交通量が減少したものの、R2.10には、昨年と同程度の交通量にまで回復。



- ### 凡例
- 供用中 事業中
 - 自動車専用道路（有料区間）
 - 自動車専用道路（無料区間）
 - その他の一般国道 直轄区間

※2019年は5月1週目に平日がなかったため、5月2週目の平日平均を採用。
 ※2019年と2020年でお盆時期がずれ込むことから、8月第2週、第3週は2週間の平均値を使用
 ※2019年と2020年で年末最終週の対象日数が大きく異なることから、12月第3週～4週は2週間の平均値を使用

【出典】トランデータより算出（データ欠測のある2基を除く、県内直轄国道46基の平均値）
 ※車種別交通量は、前年度同期間を100%とした際の比較
 日平均交通量比（コロナ後（R2）/コロナ前（H31・R元））